

令和7年度 空き家実態調査の結果

2. 老朽危険度判定 (A～Dランク)

ランク	全体		鶴岡市街地 (1～6学区)		鶴岡(郊外地)		藤島地域		羽黒地域		櫛引地域		朝日地域		温海地域	
	R7	R2	R7	R2	R7	R2	R7	R2	R7	R2	R7	R2	R7	R2	R7	R2
A	160	150	36	61	74	27	7	15	0	2	13	9	2	7	28	29
B	1,802	1,277	752	573	423	353	186	91	127	33	58	36	67	33	189	158
C	1,650	1,961	756	734	415	579	83	139	55	81	60	69	66	90	215	269
D	407	184	126	35	141	52	13	17	8	13	23	11	13	33	83	23
未判定	16	10	2	4	13	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3
計	4,035	3,582	1,672	1,407	1,066	1,013	289	262	190	129	155	125	148	164	515	482

■各地域の空き家率

地域	家屋数	空き家数	空き家率
鶴岡市街地	25,779	1,672	6.5%
鶴岡(郊外地)	12,677	1,066	8.4%
藤島地域	3,815	289	7.6%
羽黒地域	2,915	190	6.5%
櫛引地域	2,699	155	5.7%
朝日地域	1,507	148	9.8%
温海地域	3,582	515	14.4%
計	52,974	4,035	7.6%

223棟の増加

優良空き家

A 修繕の必要がほとんどなく、利用促進可能な空き家

B 多少の修繕は必要だが、再利用可能な空き家

不良空き家

C 大規模な修繕が必要で再利用困難である、適正管理が必要な空き家

D 倒壊の危険性があり、近隣への影響を考慮する必要がある危険空き家

※「未判定」とは、崩壊や所在不明等により判定できなかったものをいう

3次調査を実施した結果、前回調査（令和2年度）より453棟増加（前回比112%）。

①前々回（平成27年度）から前回調査の776棟増加（同128%）に対し、増加率は鈍化。

②新規空き家と思われる優良空き家（A・B）が535棟増加（同137%）

③不良空き家（C・D）は横ばいだが、Dランクは223棟（同221%）の大幅増加。

地域別では、鶴岡市街地は265棟増加（同119%）、羽黒地域は61棟増加（同147%）。